

マチの未来をともに考える 議会だより にいわが

# ナショスシヘ



特集

～地域ブランド「ユキノチカラ」の10年とこれから～  
**ブランド化とデザインは  
西和賀町をどう変えたのか** ....2

【ユキノチカラプロジェクト協議会会長】 高鷹政明  
【北上信用金庫理事長】 木村幸男  
【立命館大学経営学部教授】 日高優一郎  
【やまに農産会長】 高橋医久子  
【工藤菓子店】 工藤正道・真矢  
【西和賀町役場企画財政課】 高橋和子  
【ユキノチカラプロジェクト協議会  
事務局 / ブランドマネージャー】 加藤紗栄  
【公益財団法人日本デザイン振興会】 川口真沙美

定例会報告 ....8

決算審査 みんなのお金は適正に使われた？

補正予算 条例改正 意見書

未来をつくる提案・議論《一般質問》

議会・議員のことどう感じますか？《議会広報モニター会議 報告》 ....21

みなさんの声に返事が来ました《議会報告会続報》....22



「ユキノチカラ」立ち上げの背景、商品がどのように受け取られているか、町にどのような影響があるかなどを調査した、立命館大学経営学部の日高優一郎教授。

日高教授に地域ブランドの意義やユキノチカラの特徴を教えてもらつた。



立命館大学経営学部教授。山梨学院大学現代ビジネス学部准教授、岡山大学大学院社会文化科学研究科教授を経て現職。博士（商学：神戸大学）。専門はマーケティング論。

## ユキノチカラには ウソがない

ユキノチカラに、ぜひ自信を持つ  
いただきたいですね。

まず、ストーリーが非常に魅力的  
です。それぞれの事業者さんや商品  
にまつわる話だけでなく、「雪は厄  
介者だけ、西和賀を特徴づける  
存在だ」というブランドの出発点に  
「ウソがない」ことが素晴らしい。  
ブランドにおいて、「オーセンティ  
シティ」「本物感」というキーワー  
ドがあります。「地元の人たちがマ  
ジメに作っている」「観光用にわざわ  
ざ作られたものではない」など、いろ  
いろな要素がユキノチカラの「本物感」  
を生んでいます。

が作られたものではない」など、いろ  
いろな要素がユキノチカラの「本物感」  
を生んでいます。

か、都市部の人々が西和賀をどう認  
識するかには違いがあるはずです。

どちらが正解ということではなく、  
「違う視点から見たとき、どのよう  
に見えるのか」を再確認しつづける  
ことで、見過していた価値や資源  
が見つかり、それがまた新しいチカ  
ラになるのではないか。どううか。

ユキノチカラがどんどん広がってい  
くのを楽しみにしています。

## ユキノチカラのちからに 議会も注目！



ユキノチカラによるタ  
ンブロモーションの視  
点に加え、住民の一体感  
や町に対する愛着心、帰  
属意識、誇りの醸成とい  
つた、言わば内なる力を  
つけるといった広い意味  
での地域ブランドの考  
え方を重点戦略の中で  
明確に位置づけること  
が重要ではないか。

令和7年6月定例会  
真嶋議員一般質問

## おしゃて！日高先生！

### 地域ブランド 3つのタイプ

#### ①地名を冠した単一の商品

例) 夕張メロンや関アジ、有田焼

#### ②エリア的な広がり、幅広い商品を扱う

比較的広いエリア全体の魅力や商品を、まとめて発信する。たとえば、瀬戸内海を囲む7県で推進している「瀬戸内ブランド」や熊本県の商品やイベントなどに利用できる、ゆるキャラの「くまモン」など。

#### ③循環型

ユキノチカラが該当するのが、発信だけでは終わらない「循環型」。既存の何かに磨きをかけて発信し、「外でこれだけ評価されましたよ」という情報を地域内に還元し、地域の人才培养や雇用の創出などにつなげようとするもの。ユキノチカラのほかに、高知県四万十川流域の地域商社「四万十ドラマ」など。

### 地域ブランド 3つの役割

#### ①違いを可視化して、感情的なつながりを作る

地域ブランドに限らず、ブランド全体に言える役割。簡単に言うと「パッと見てすぐわかる」か。たとえばスターバックスのロゴを見れば、店内のイメージが思い浮かぶ人は多い。同時に、「ゆっくり過ごせていいよね」というポジティブな感情がわき起こるなら、ブランドがうまく機能していると言える。

#### ②地域内での連携

単独の事業者だけでは難しい売り先の拡大や、販売促進活動も、連携することで可能になる。ユキノチカラの場合は、それぞれの商品の良さ、ストーリーがあるのはもちろん、雪という大きなテーマがあるので、お客様にとっても、商品を置くお店にとっても、響きやすいのではないか。これまでとは違うお客様に価値を認められれば、事業者や地域の自信につながる。

#### ③地域らしさの創出

ユキノチカラは厄介者扱いだった雪を、資源として捉え直す取り組み。自分の町の商品が町外で評価されていることを知ると、外から来たお客様が雪を見て大喜びしているのを見れば、「うちの町もいいところなんだ」「雪も悪くないな」と思える。

事業者は  
どう感じてる？

この町だから  
この環境だからこそ



高橋 医久子さん(下前)

私は西和賀で採れるものや、食べられたきたものにこだわって商品化をしてきました。義父は山から採つてきたものを食べたり、焼酎につけたりしていましたし、「季節ごとに、山や川で採れるものを食べるのが体にいいんだ」という人の話を聞いて、「確かにそうだな」と思つたからです。

「町外の人たちと組んでプロジェクトをやります」という話だけが聞こえた頃、私はまだ様子見をしていま

したが、「ユキノチカラ」という名前が決まり、雪を中心に据えた商品開発をすると聞いて、「だったら、一緒にやりたい」と思いました。単に「売れるものを作る」のではなくて、「西和賀ならではのものを作る」という考えと共に

感しました。

雪や冬からの連想で、私たちが選んだのは甘酒です。西和賀でも冬になると家々で仕込みますよね。おしゃべりで、体にいい甘酒を、若い人にも受

け入れられるような商品にしよう。

パッケージだけをデザイナーに頼むのではなく、どんなものを作るかとい

う段階からデザイナーさんとやり取

りを重ねるのは初めての体験でした

が、おかげでいいものができました。

私たち農作物の生産と加工するま

での手を借りながらやるのがない。

最近、原料が手に入らなくなつて、

製造できない商品が出てきました。

高齢化で「もう作れない」という人が増えてるからです。技術が途絶え

ていくのは悲しいのですが、その人た

ちのなかには「伝承したい」「残した

めぐみを受けたこの西和賀だから

できる、特別なものなのに、本人たち

にそういう意識があまりない。

「この町の、この環境でこそ、ものを

作りたい」。ユキノチカラが、そういう

人を連れてきたり、地元の人たちの

意識を変えたりするきっかけになつ

てくれればと思います。

楽しくなってきた！



工藤菓子店  
工藤正道さん 真矢さん(湯本)

から、ユキノチカラがなければ、外部の人たちと一緒に商品開発することはなかつたかも(笑)。

正道 そうかな。

真矢 そうだよ。それに、西和賀生まれっていうのを、微妙に隠したがってたよね、昔は。

正道 言つてもわからないかな。やつてもうすぐ20年だし、メディアに出る機会も多くなつたし、年を取つただけかもしれないけれど、「西和賀から来ました」「西和賀のお菓子です」というのが「武器」なのかもと思うよ。

正道 たぶん、実家に戻つて店をやつてもうすぐ20年だし、メディアに出る機会も多くなつたし、年を取つただけかもしれないけれど、「西和賀から来ました」「西和賀のお菓子です」というのが「武器」なのかもと思うよ。

真矢 驚いたし、うれしかつた。

正道 結婚して引っ越してきて頃と比べると、町も解放的になってきた気がする。最近、楽しくなってきたんだよね。西和賀、全然悪くないよ(笑)。

正道 東で買つてくれる常連さんが面白そうだと思って、実は西和賀に行つてきた」つて。

真矢 ユキノチカラといひひとのブランドとして、町を売り出すつて、すごくいい取り組み。私たちが全国の物産展を売り歩けば、町のPRにもなる。関

東で買つてくれる常連さんが面白そうだと思って、実は西和賀に行つてきた」つて。

正道 驚いたし、うれしかつた。

真矢 ユキノチカラといひひとのブランドとして、町を売り出すつて、すごくいい取り組み。私たちが全国の物産展を売り歩けば、町のPRにもなる。関

東で買つてくれる常連さんが面白そうだと思って、実は西和賀に行つてきた」つ

# ブランド化つて 共感される自己紹介

日本デザイン振興会の在籍中に  
ユキノチカラ立ち上げに参加した加藤紗栄さんは  
その後、東京から町に移住し、現在は  
日本各地の自然豊かな地域と、そこで活動する  
デザイナー・クリエイターを見てきた。

かつて六本木を一緒に歩き  
今は住む場所と立場の違う2人が  
西和賀町とユキノチカラの可能性を語る。

ユキノチカラプロジェクト協議会  
事務局／ブランドマネージャー  
加藤 紗栄 かとう さえ



公益財団法人 日本デザイン振興会  
川口 真沙美 かわぐち まさみ

## 震災後に見たデザインの力

### 加藤 日本デザイン振興会（以降、振興会）にいたとき、川口さんと一緒に、東日本大震災からの復興プロジェクトをやったよね。私が初めて東北に来たのは、そのとき。

川口 各地で活動するデザイナー、や、地方活性化に取り組んでいる人、企画をやっている人たちと直接会って話すのは私も初めての機会で、扉が開いたような感覚があった。「地方にもこういう人たちがいるなら、一緒にできることがきっとあるな」って。

加藤 「コミュニティの再生」という大変な仕事にもデザインが活用されていた。デザインには「見た目を整える」よりもっと大きな力や役割があることを、私自身も世の中も改め

て認識したと思う。

川口 東北に限らず、地方だと、工業試験場のようなものづくり系とデザインがセットになって、逆に「地域の未来をどんなふうに考えるか」「人をどうやって動かして、巻き込んでいくか」という視点でのデザインは、ほとんどなかつたはず。

加藤 地域社会が大きなダメージを受けたとき、破れた網を編み直していくような作業が必要になる。どんな網を目指して、どうやって編み直していくかを考えると、デザインの視点は欠かせないんだよね。

加藤 幸せに暮らしてます（笑）。もすごく楽しそうでよかったです。

1977年東京生まれ。日本デザイン振興会にてグッドデザイン賞事務局や広報、内地域振興事業担当として企画運営を行った。2018年に町へ移住後、出産を経て、19年4月に町へ移住後、ユキノチカラプロジェクト事務局に復帰。かに座A型。

「いう話はよく聞くようになった。

川口 震災とコロナ禍をきっかけに地方に目を向けた人はたくさんいる。デザイナーって、何かを作るのが好きだから、地方に行って「これが欲しい」と思つたら、自分で作つやう。それが新しいコミュニティを生み出して、さらに何かが生まれるという好循環もいろいろなところで見るようにになった。「なんだ、東京にいなくともできるじゃん」って。

加藤 だからユキノチカラを見て「面白そうな町や人だな」って足を運んでくれる人を増やしたいんだよね。川口 試しに3ヶ月滞在してみるとか、地域のコミュニティとつながれるとか、ユキノチカラがそういうサポートまで一貫してできるようなかたちになつたら、すぐスムーズになると思う。地域ブランドに期待されているのつて、そういうことだよね。

1977年横浜市生まれ、2005年より現職。グッドデザイン賞受賞商品のみを販売する「グッドデザインストア」事業、常設プロモーション拠点「GOOD DESIGN Marunouchi」など、多くの事業立ち上げや運営に従事。乙女座〇型。

## 「こうありたい」を発信すると

加藤 私は今、町のふるさと納税にもかかわってる。全国には1700を越える自治体があるから、町の名前だけでは、興味を持つもらえない。

川口 その点、ユキノチカラはブランド名がすごくいい。雪が降る町だって「発でわかるし、同時に「雪から何かを作り出そうとする人」のチカラも感じられる。その連想こそがブランド化が持つ力。

加藤 商品だけじゃなくて、自然環境も、そこで暮らす人も、私が魅力的に感じた全部を、ユキノチカラとしてみんなに教えたいんだよね。

川口 ブランド化つて「勝つ」ためにやるものじゃないよね。「セルフブランド」っていう言葉があるけど、「こありたい」を目指して、その人なり、その町なりのいいところを磨いて、見つけてくれる人を増やすのがブランドづくりだとと思う。

加藤 自己表現とか、自分や地域の性格をうまく伝える、みたいな。川口 そうそう。だから自己紹介みたいなものかなつて。自己紹介するときに、これまで何をしてきたかだけじゃなくて、「これからこういうことをしたい」「こういう人になりたい」というふうに、「一緒にやろうよ」「教

えてあげるよ」って声がかかるかもしれない。それに、人に説明するうちに、「自分で、こういうことを考えたんだ」と気づくこともある。

川口 西和賀を訪ねたのは今回が初めて。ユキノチカラの素晴らしい取組みだよね。『発見』というのがいっぱいあるんだね』って住民のみんなに気づいてもらいたい。

川口 昨日、私がお邪魔した西和賀高校の『魅力発見ラボ』もいい取り組みだよね。『発見』というのがポイント。「これが魅力だよ」と押し付けるんじやなくて、決まった正解はないから、自分が好きなものを見つけてねつて。

川口 魅力発見ラボでは、町のいろんな人が出入りする町にして、加藤さんみたいに移住する人を増やすなきやね。そういう人との交わりのなかで、たくさんの人たちがたくさんいる。地元の人たちのそんな姿を生きるヒントにしてほしい。

川口 都市に行けばイキイキ働けるかというと、必ずしもそうじやないから、いろいろな生き方にふれてほしいね。それにしても、私たちが大学

を卒業したのが2000年でしょ。

加藤 25年も前なんて信じられない（笑）。世の中、本当に変わったよね。川口 教育も変わった。中学や高校の探究学習では、自分で課題を見つけて、自分で解決策を探る。大学生でも都市部でのインターネットだけじゃなくて、地方に短期間滞在して、バイトをしながら、地元の人との交流を楽しむ人がいる。

加藤 そういう人たちには、それまで知らなかつた土地でも、共感できる部分があつたら「直接、見てみたい」って行動するだろうし、「住んでみたい」って人もいるはず。実は私は、初めて西和賀に来た日付まで覚えてるんだよね。2015年4月22日！私が西和賀にどハマリした記念日。

川口 すごい（笑）。たくさんの人人が出入りする町にして、加藤さんみたいに移住する人を増やすなきやね。そういう人との交わりのなかで、たくさんの人たちが西和賀の魅力を再発見できるだろうし。これから、ユキノチカラで西和賀がどう変わっていくか、どんな人が来るか、すごく楽しみに見ています。

## \* 魅力発見ラボ

西和賀高校がユキノチカラとコラボした地域学習プログラム。これまで町内事業者と一緒に商品開発をしたり、ご当地LINEスタンプの企画販売をしたりしている。活動報告は全戸配布されるほか、ネットでも公開中。<https://yukino-chikara.com/news/250831/>



## \* 山水郷チャンネル

地方で活動するデザイナー・クリエイターを招き、新しいデザインと新しい生き方のカタチを共に考えるオンラインプログラム。これまで実施したセミナーはYouTubeチャンネルにおいて、無料で閲覧できる。<https://www.jidp.or.jp/ja/2023/02/28/20200510/>



## 決算審査特別委員会

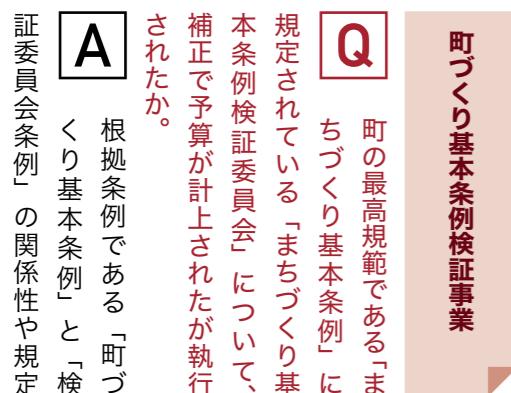
みんなのお金は  
適正に使われた？

決算審査特別委員会（委員長：高橋敏樹議員、副委員長：中村ひとみ議員）は9月2日から10日まで、一般会計のほか、4つの特別会計、3つの公営企業会計について、予算が適正に執行され、効果的に事業が行われたかを審査しました。

決算審査特別委員会の審査結果は12日に本会議に報告され、すべての決算が認定されました。

ここでは、決算審査特別委員会で行われた議員と当局の質疑をダイジェストで紹介します。

また、決算に関する資料は町ホームページに掲載されています。「決算書」そのものはかなりの量で、数字ばかり並んで、解りづらいかもしれません。決算資料のなかでは「決算付属資料」は町の考え方や事業内容の説明も記載され、町のお金の使い方がより理解できるよう書かれていますので、本記事と併せてお読みください。



決算付属資料

**A** か。  
**Q** 委託業者の契約形態と実績はどうなっている  
**A** 契約は業務実績のある会社と単年度で交わしている。町のデジタル施策の着実な推進と、職員のＩＴリテラシーの向上、町長を中心とする情報システムの導入や運用を組織的に管理・統制する仕組みを確立するため、令和6年度は実施3回、ワーキンググループ5回、町長との意見交換3回など実施した。

決算付属資料に記載がある話題はそのページ数を表示しています。

内容に疑義が生じた。疑義を解消するためには条例改正が必要であるが、条例改正を行う機運ではないと判断し、検証委員会設置は見送った。今後是正措置を講じる必要がある。「まちづくり基本条例」の理念を堅持しつつ、検証のあり方や条例の見直しも含め検討を重ねていく。

**A** 用への周知は。  
**Q** 事業実施の詳細と、利移住支援金、  
移住者補助事業  
**A** 岩手県「いわて暮らし応援事業」と連携し、東京圏からの移住に対して、世帯1件100万円、単身者1件60万円を交付した。町のホームページや定住支援ガイドブック、県のポータルサイトで情報発信、補助金は新築住宅40万円が2件、うち子育て加算10万円で計90万円が交付された。

## 定例会の会期

令和7年9月2日～12日

## 町長からの報告

令和4年度及び令和5年度西和賀町健全化判断比率の修正

令和6年度西和賀町健全化判断比率及び公営企業会計資金不足比率の状況

## 町長専決処分の承認

## 令和6年度決算の認定

第16回

# 定例会 報告

9月定例会では  
すべての議案を賛成多数  
または全会一致で可決。  
令和6年度の決算も  
認定しました。



## 令和6年度の決算が認定されるまで

令和7年3月31日 会計年度終了

精算、未収金・未払金の整理などの期間を経た後に、各事業の管理者が、決算を町長に提出監査委員が決算を審査し、町長に意見書を提出

令和7年9月 9月定例会

町長が監査委員の意見書を添えて、議会に決算の認定を求める

決算審査特別委員会の設置

特別委員会で決算を審査

審査結果を本会議に報告

本会議で決算を認定するか採決



条例改正  
補正予算  
その他の当局から上程された議案  
意見書  
その他

議会だよりの審議や質疑の記事は、  
抜粋や要約をしています。  
正確には、後日町のホームページに  
公開する会議録をご覧ください。  
<https://www.town.nishiwaga.lg.jp/chogikai/index.html>



い。

し、森林との触れ合いを深め健康増進を図るという目的に添い、キャンプ・ジャンボスライダー・ほつとゆだからのサイクリングも絡めた体験型観光施設として活用する。今年度は町のランドマークとなつていいつり橋の補修工事を行う。半年で1万人の利用実績を更に増やすため、指定管理者との話し合い、若い層・ファミリー層の意見を取り入れた活用を進めた

西わらび生産販売ネットワーク補助金について、売り先の確保、生産者の利益率向上は充分か。

西わらびは、地理的表示法制度（G－）登録前に比べ厳格な出荷管理が求められているが、西和賀産業公社と連携しながら認知度向上と多様な売り先の確保に努めている。現状の利益率は8割程度となる。収穫期間が1ヶ月ほどで収穫面積も限られ、副収入としての位置づけだが、生産コストの最適化、高

**Q** 西わらび生産販売ネットワーク補助金について、売り先の確保、生産者の利益率向上は充分か。

**A** 西わらびは、地理的表示法制度（G－）登録前に比べ厳格な出荷管理が求められているが、西和賀産業公社と連携しながら認知度向上と多様な売り先の確保に努めている。現状の利益率は8割程度となる。収穫期間が1ヶ月ほどで収穫面積も限られ、副収入としての位置づけだが、生産コストの最適化、高

**P96**

支援事業補助金 西和賀高校オーストラリア研修に5名参加しているが、希望者の人数は。今年度の希望者は14名だった。海外派遣事業に魅力を感じて西和賀高校を選択している生徒も多いと思う。また、研修に参加した生徒は、語学だけではなく自立心の成長も感じられ、こ

Q 事業の現状は。

A 子どもが病気になつて も預けられる病児保育 事業の現状は。

子どもが病気になつて も預けられる病児保育 事業の現状は。

委託先がなくなり、現 在は休止しているが、児 児と就労の両立を支える社会的な 仕組みであり、再開を望む声を多く いただいている。医療機関との連携のあり方と看護師確保を模 索し、事業再開に向け検討してい く。

観光協会助成事業

A Q

町内観光資源を用いた  
ターゲットの検討は。  
若年層や女性の観光客  
を増やす取組みとして  
動態調査の実施により観光資源  
の更なる魅力発信に取り組んで

P116

川舟郵便局に設置されているキオスク端末の利用状況は、川舟郵便局に設置されたキオスク端末のみのため利用数が少ないが、次年度以降は町外のコンビニ交付によって、住民票の

卷之三



データ観測や自然観察会・出前講座・体験講座など、自然環境への関心を高める取り組みを実施してきた。施設見学者は増加しており、講座も受講者が増えている。今年1月から専門知識に優れた地域おこし協力隊を任用し、2名体制となり、活動の周知が強化される。新たに「雪文だより」の発行を開始した。また、将来的にはユキノチカラとの企画や立案にも関わっていく。

# Q 雪国文化研究所 実績と成果発信

## 雪国文化研究所 研究員の実績、成果とその発信は、基幹的研究となる雪の

P163

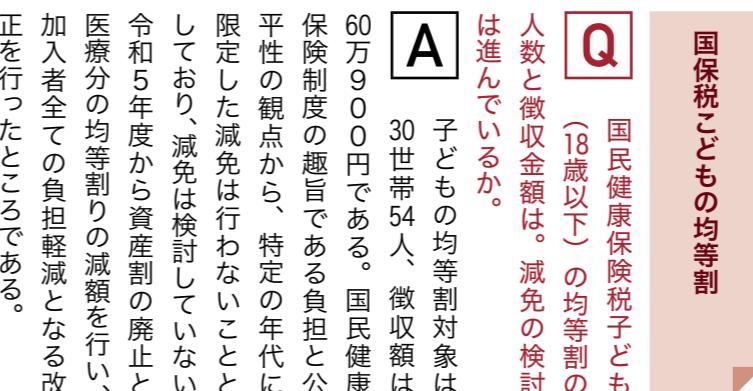
**A** 若手の人才確保が課題となる中、介護の仕事を通じて、介護現場のエピソードを寸劇に通じて、理解促進を目的に、各学校へ介護福祉職員による講師を派遣し、前講座を実施している。現場のエピソードをもとにした寸劇やフリートークを行い、子どもたちに介護や福祉の仕事の必要性と魅力を伝えている。子どもたちへのアンケートの結果、



# 雪国文化研究所 実績と成果発信

# 介護の仕事理解促進事業

果、8割が「もっと知りたい」との回答で、介護・福祉の仕事への理解が深まっていると感じた。







# 意見書

## 意見書の審査結果

### 米の安定供給体制の確立と農業基盤強化に向けた施策の推進を求める意見書

米価の高騰は、消費者にとって重い負担になっていることに加え、中食外食業者や学校・病院給食等においては、事業の継続に関わる問題となっている。

一方、生産現場においては、農業生産資材価格等の高騰が深刻化しており、経営が圧迫されている状況が続いている。また、50年余りに及ぶ生産調整施策により、転作作目の増加と稻作の減少、生産者の高齢化と担い手不足など、国内農業生産体制の脆弱化が進んでいる。

国においては、米の安定供給体制の確立と農業基盤強化のための措置を講ずるよう強く要望する。

**提案者** 普本 歌織 **賛成者** 高橋 宏 **結果** 全員一致で採択

## 条例改正

### 西和賀町行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正

住民基本台帳に記載がされておらず住民サービスを受ける必要がある個人に対して、従来は業務システムごとに附番され管理していたものを、共通で一人に一つの番号を附番して管理するようになる。

**Q** 町民や役場の事務への影響は。また、提案理由の「地方公共団体情報システムの標準化」は、地方のデータが国で詳細に把握できるようになることで、国の政策を迅速に執行させることができるようになり、自治体が国の執行機関でしかなくなる危険性が指摘されているが。

**A** この条例改正で町民に直接影響はない。行政側にとっては業務の効率化につながる。国で進めていく事業であり問題ないと認識している。

### 西和賀町職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部改正

任命権者は、職員が妊娠・出産・育児と仕事を両立しやすいように、制度や措置について知らせたり、意向を確認したりしなければならないという条項が新たに加わった。

### 西和賀町職員の育児休業に関する条例の一部を改正する条例

育児時間の取得パターンの多様化等に対応する。従来は正規職員においては、1日に2時間を超えない範囲と定められていたものを、まとめてととができるなどの改正がされた。

## 補正予算

### 合併20周年記念事業 記念式典・シンポジウムを開催

#### みんなの声



沢内民謡同好会  
八京 俊一さん

西和賀町20周年おめでとうございます。あつという間の月日だったなと感じています。私が民謡保存会の代表になって10年近くになります。沢内の民謡の保存と後継者育成のため、小学校などに行ったりと働きかけたところ、地域の若い3人の方が入ってくれました。彼らが目を輝かせて民謡を楽しんでいる今、西和賀の子どもたちに民謡を伝える最良の時だと思います。どうか地域みんなで応援してもらいたい、そして仲間になってもらいたい、西和賀としての伝統文化を後世に伝えるために。

#### みんなの声



地域おこし協力隊  
フラワーファーマー  
照井 真さん

西和賀町合併20周年おめでとうございます。湯田小学校、湯田中学校、西和賀高校と18年間、西和賀町で育てていただき、岩手農大→花巻市の農業法人と6年間町外で花の生産に関わる勉強をして、今年西和賀町に地域おこし協力隊として戻ってまいりました。自分が西和賀町を離れて戻ってくるまでの数年間、町外にいた時も「西和賀」のワードを聞くことは少なくありませんでした。合併して20年、様々な町づくりへの努力を感じています。

西和賀町の特産である、「りんどう」は、ここで育てるからこそ際立つ魅力があります。生産者が減る中、産地として輝き続けるためにも、若手や新規で入ってくる方、町に戻ってくる方が、りんどう栽培にチャレンジしやすい環境や雰囲気づくりをしていきたいと思います。

何より、町で生まれ育つ子ども達が未来に希望を持って、そして生まれた故郷に誇りをもって生活できる地域づくりを皆さんで力を合わせてやっていけたら、西和賀町は唯一無二の素敵な町になると思います。町の農地に、町民の皆さん的心に、花を咲かせ続けられる町にていきましょう。

11月1日に行われる記念式典においてシンポジウムを開催するための諸経費、新聞広告料、

全戸に対して記念品を配布するための予算で、当初予算と合わせて320万円の事業となる。

西和賀町合併20周年記念事業 120万円

子育て支援の新規事業。育児や家事に不安を抱える子育て家庭に対し、家事や育児のサポートや不安の傾聴を行い、必要に応じて支援につなげる。対象者は主に要保護児童としているが、

それ以外でも関係機関や保護者からの相談などで、必要な方が支援を受けられるようになる。介護福祉事業所との連携を考えており、支援員は介護ヘルパーを想定している。

子育て世帯訪問支援業務委託料 47万8千円

大畠に建設中の商業施設用地は町有地と民有地が存在する。排水路工事が必要となり、

町と商業施設側とで負担割合を定めた町側の負担金である。

商業施設用地に伴う工事負担金 272万4千円

県補助金である地域経営推進費を活用し、西和賀高校の学生寮の共同生活をサポートする人材の募集業務、次年度以降の高校魅力化推進に係る計画策定の経費を委託するも

の。町外からの生徒である寮生のサポート体制を充実させること、今後の高校魅力化推進のビジョンを作成することが目的である。

西和賀高校魅力化コンサルティング業務委託料 473万2千円

西和賀高校の生活をサポート

# 今回は6人が質問！



議員は町の行政、財政について、執行機関に質問できます。定例会では「一般質問」として、未来をつくるための提案・議論を行います。

議員名に **囲み** のある項目は記事掲載あり。掲載文の文責は各議員にあります。

質疑応答の全文は、会議録ができ次第町ホームページで公開します。

くらし	刈田
景観条例の制定	刈田
熱中症対策	刈田
教育・子育て	
沢内地区小中学校の整備場所の検討経過	普本
沢内地区小中学校の整備に関する住民への意見聴取	普本
小中学校の地域に果たす役割	普本
保育所(園)統合の進捗	普本
保育所(園)統合に関する保護者への説明	普本
沢内地区新保育所の建設場所	普本
保育所(園)保育料の無償化	普本
0歳児保育の開始	普本
保育所(園)での主食の提供	普本
病児保育の再開	普本
小・中学校建設に向けた住民意見の反映	高橋宏
教育留学の目的	高橋宏
複式・複複式への対策	高橋宏
熱中症の状況と対策	刈田

まちづくり・地域づくり	普本
協議会・審議会等への女性の登用について担当課の役割	普本
男女共同参画の地域への啓蒙の手立て	普本
移住定住促進住宅の入居状況について	中村
空き家対策について	中村
原野（空き地）の管理不全対策について	中村
複合拠点・保健センター整備	高橋宏
地域運営組織の必要性の周知	唐仁原
地域運営組織を学ぶ機会が必要では	唐仁原
地域おこし協力隊の地域への導入	唐仁原

行政	真嶋 真嶋 真嶋 真嶋 高橋宏 高橋宏
総合計画策定・住民懇談会の周知方法と参加実績	
総合計画策定・住民懇談会 職員の出席状況	
総合計画策定・住民懇談会 町民の声と対応	
総合計画策定 団体ヒアリングの実施状況	
財政調整基金の増額ポイント	
内記町長一期目の総括	

# 未来をつくる 提案・議論

# 一般質問報告

交通

北上線利用促進	真嶋
AI オンデマンド交通(予約式)の課題と改善点	唐仁原
予約式に不便さを感じる人への対応	唐仁原
移住促進と公共交通	唐仁原
町民バスの利用者確保対策	唐仁原
町民バスの出退社利用、夜のおでかけ対応	唐仁原
公共交通の待合スペースの確保	唐仁原
「日本版ライドシェア」の検討状況	唐仁原

保健・医療・福祉

## 新保健センター建設の進捗 クーリングシェルターの設置

## 生涯学習・生涯スポーツ

## 子供から大人までが学べる生涯学習 総合型地域スポーツクラブの運営コンセプト

農業・林業

西和賀型農業のあり方  
高温による収穫量、品質  
水不足による影響と対応

觀光

ほっとゆだ駅周辺の環境整備

## その他

## 災害時の水不足対応

# 審議の結果



議会だよりの審議や質疑の記事は、  
抜粋や要約をしています。  
正確には、後日町のホームページに  
公開する会議録をご覧ください。  
<https://www.town.nishiwaga.lg.jp/cho>



## 第16回定例会で話し合ったこと、その結果

※ページ数が書いてあるものは議会だより内で詳しく取り上げています

件名	結果
<b>専決処分 承認</b>	
一般会計補正予算(第2号)	原案承認
水道事業会計補正予算(第2号)	原案承認
<b>令和6年度決算 認定</b>	
一般会計／国民健康保険特別会計／後期高齢者医療特別会計／介護保険特別会計／温泉事業特別会計／町立西和賀さわうち病院事業会計／水道事業会計／下水道事業会計	原案認定
<b>条例改正 (法律・政令・省令などの改正などにあわせるもの)</b>	
町議会議員及び町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正	原案可決
行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正	原案可決
町職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部改正	原案可決
町職員の育児休業等に関する条例の一部改正	原案可決
火入れに関する条例の一部改正	原案可決
<b>令和7年度 補正予算</b>	
一般会計補正予算(第3号)	原案可決
後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決
介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
温泉事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
町立西和賀さわうち病院事業会計補正予算(第2号)	原案可決
水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決
下水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
<b>その他 (契約締結)</b>	
オロセの吊橋橋梁補修工事の請負契約締結	原案可決
町道大石笹原線道路防災対策工事の請負契約締結	原案可決
<b>発議 (意見書)</b>	
米の安定供給と農業基盤強化に向けた施策の推進を求める意見書	原案可決

# 賛否の 分かれた 案件

※議長は賛否が同数などの場合にのみ採決に参加します。これ以外は採決に参加しません。



令和8年3月まで務めていた大議会広報モニターの皆さん



菊池 啓二さん  
(中村)



森 陽平さん  
(上野々)



刈田 祐奈さん  
(櫻沢)



佐藤 裕子さん  
(長瀬野)



有馬 由菜さん  
(鍵飯)

平成23年に施行された「西和賀町議会基本条例」には、「議会は、議会広報モニター制度を活用し、議会、町政への町民の多様な提案等を受け、議会広報を充実させるよう努める」という条文があります。

実際にはこれまで議会広報モニターは設置されませんでしたが、今年度、5人の町民にお願いし、さまざまな意見を聞くことにしました。ここでは7月に実施したモニターミーティングで出た意見の一部を紹介します。

## 議会だよりについて

それぞれの議員がどんな視点や問題意識を持っているかを住民は知りたい。それが伝わる誌面にして。

文章を読むのが苦手な人でも読みやすい誌面にできないか。障がいのある人が「カラーにしたほうが見やすい」と言っていた。

以前にも取り上げた課題は、流れが見えるようになるといい。



いただいた意見は議会全体で共有し、今後に生かします。また、読者・住民の皆さんからのご意見も募集しています。(詳しくは27ページ)

生の議会を体験してみませんか。議会傍聴はどなたでもできます。途中入退室は自由です。

### 傍聴方法

●傍聴の受付場所 役場3階議場前

①傍聴人受付名簿に名前を記入 ②資料を受け取り入場

※入退場自由 傍聴20席程度、車いす2席程度可能

次の定例会は  
**12月中旬**  
の予定です。

正式な日程は、11月下旬に  
町ホームページに掲載します。

## 議会・議員のこと どう感じますか？

《議会広報モニターミーティング報告》

Q 町における農業のあり方をどう考えるか

A 保健センターについては合併時からの懸案であり、複合施設、保健センター整備について

Q 町長に就任してから1億1930万8千円増加している。ポイントとして①国道107号線の地滑り災害が特別な財政需要と認められ特別交付金が増額された②同じ借金でも財政的に有利な地方債の借り入れを行った③一件査定方式により適切な予算措置に努めた。ことにより大規模な自然災害が発生した場合でも柔軟な財政需要に対応することが可能となつた。

Q 任期内に\*財政調整基金を増やしている。増額のポイントは

A 町全体が複合型農業へ



高橋 宏

Q 西和賀の農業のあり方



普本 歌織

Q 子育て支援策の検討は

A 男女共同参画の啓蒙の手立ては

Q 財政調整基金

※

地方自治体が、景気変動による税収の減少や災害などの予期せぬ支出に備え、財源に余裕がある年度に積み立てておく「貯金」のこと。

Q 町全体での複合型農業があるべき姿と考える。人など大型経営体は稻作など地利用型の作目を中心には、畜産・花卉を主体とする経営体がある。家族経営体は米、花、ラビ、野菜など経営方針に基づいた多様な農業が存在するのが西和賀の強み。行政は農地の約・価格向上対策・国、県の支援策導入、運用などを通じて、それぞれの主体が力を発揮できるよう支える。

Q 2期目を託された場合の重点策は

A 基幹産業の強化を図りたい。町の価値を高めるための景観形成のための条例の設置、再生可能エネルギーの活用促進に取り組みたい。

Q まずは住民福祉の増進、健康と暮らしの質を高めることになる。子育て世代の負担軽減策の一つとして検討している。

A 現在保育料が課されている3歳未満児の第1子は4人、およそ84万円となる。国・県の動向を見ながら、町独自の負担軽減策も含めて検討する。

Q 保育所(園)での給食は3歳以上児では副食(おかず)のみの提供となっているが、主食の提供は検討している。

A 町が負担した場合、お米代約50万円に加え、炊飯器や食器等の所持費用を負担することになる。子育て世代の負担軽減策の一つとして検討している。

Q 町が委嘱または推薦する地域協議会等14組織のうち、10組織で女性が8割以上と著しい男女差が見られる。これは地域における男女共同参画が進んでいないこととの表れと考えられる。

A 令和6年度実績において性の割合が増えている。今後も生涯学習によりでの啓蒙や、講演会等研修の機会をつくる。

Q 第2次西和賀町男女共同参画プラン



第2次西和賀町男女共同参画プラン

### \* 一件査定方式

一件査定方式(積算方式とも)は、各費用を個別に算定・積算し、合計することで全体の予算とする算出方法。

Q 任期内に\*財政調整基金を増やしている。増額のポイントは

A 町全体での複合型農業があるべき姿と考える。人など大型経営体は稻作など地利用型の作目を中心には、畜産・花卉を主体とする経営体がある。家族経営体は米、花、ラビ、野菜など経営方針に基づいた多様な農業が存在するのが西和賀の強み。行政は農地の約・価格向上対策・国、県の支援策導入、運用などを通じて、それぞれの主体が力を発揮できるよう支える。

Q 2期目を託された場合の重点策は

A 基幹産業の強化を図りたい。町の価値を高めるための景観形成のための条例の設置、再生可能エネルギーの活用促進に取り組みたい。

Q まずは住民福祉の増進、健康と暮らしの質を高めることになる。子育て世代の負担軽減策の一つとして検討している。

A 町が負担した場合、お米代約50万円に加え、炊飯器や食器等の所持費用を負担することになる。子育て世代の負担軽減策の一つとして検討している。

Q 町が委嘱または推薦する地域協議会等14組織のうち、10組織で女性が8割以上と著しい男女差が見られる。これは地域における男女共同参画が進んでいないこととの表れと考えられる。

A 令和6年度実績において性の割合が増えている。今後も生涯学習によりでの啓蒙や、講演会等研修の機会をつくる。

Q 第2次西和賀町男女共同参画プラン

第2次西和賀町男女共同参画プラン

### \* 財政調整基金

地方自治体が、景気変動による税収の減少や災害などの予期せぬ支出に備え、財源に余裕がある年度に積み立てておく「貯金」のこと。

# みんなさんの声に 返事が来ました

全文は  
こちら

令和7年3月に行なった議会報告会について、議会だより「ナショスンベ」79号で議会報告会の詳細と議会に対する質問への回答、町の事業に対するご意見・ご要望を掲載しました。

このたび、町の事業に対する質問への回答があつたので抜粋、要約してお知らせします。全文は議会ホームページに掲載するとともに、議会報告会を行なった地区の行政連絡員の方にお届けします。



**Q** 獣害対策で、鳥獣の目撃や被害を報告するシステムについて、以前議会で話題になっていたと思うが、その後の進展は?

**A** 町の「拠点施設」の整備について現状はどうなっているの? 地区住民への説明が不十分では?

**Q** 公民館の維持経費について、町の補助金が年々減って維持が困難です。利用人數が減ったからと補助金を減らすようでは、さらに利用していく行政指導を行うことになります。

**A** 建物等の適正管理に関する質問です。事業廃止後に維持管理がなされていない場合には、法令、条例に基づいて行政指導を行うことになります。

**Q** 公民館の維持経費について、町の補助金が年々減って維持が困難です。利用人數が減ったからと補助金を減らすようでは、さらに利用していく行政指導を行うことになります。



**Q** 三陸の「潮風トレイル」がインバウンドを中心に入り人気があるようです。本町でも取り入れては?

**A** 現在町を含む広域ルートとして、県が設定する広域サイクリングルートがあり、広くPRされています。町でもインバウンド需要は増えてきており、Wi-Fi環境整備、案内表示の設置など受け入れ態勢の強化に努めています。

**Q** 町のバスは大きいのでは?なぜ大きいバスを維持しているの?

**A** 西和賀高校生の通学利用等に対応するためです。朝の登校時は大型バスでも乗り切れず、スクールバスも配車して対応しています。

**Q** ひかり放送の音質が悪く、よく聞こえない…。

**A** 近隣市町村の運用状況の確認と、町公式LINEの担当課と協議を進めています。

**Q** 住宅など新しく建てる事業はあるようだが、空き家などある物を利用することは考えないの?

**A** 「農家活用促進事業補助金」や「空家改修助成事業補助金」などの制度があり、利用されています。制度の周知と空き家の有効活用に努めています。

**Q** 地域づくり組織の代表者が集まるような場にするべきでは?

**A** 地域づくり組織と町が共同して地域づくりに取り組むため、情報交換や協議の場として地域づくり組織連絡会議を開催しています。地域要望に対する回答のほか、町から地域課題に向けた施策等の提案を行う場として位置づけています。

**Q** 各地域組織と集落支援員のかかわりをどう考えている?研修なども行っているの?

**A** 国や県で行う研修に参加するほか、先進事例を学ぶなどして日々の活動に取り入れています。地域づくり組織等の意見も参考にしながら、持続可能な地域づくり活動を支援できる体制を検討していく必要があります。

**Q** 町で誘致した企業の後片付けは?町としての方向性はある?



**行政視察**

## 「越える学校」 五城目小学校を視察

●日 時 令和7年7月2日 ●視察先 秋田県五城目町立五城目小学校

●視察のテーマ

- ・学校を0歳から100歳までの学びの場として活用する「五城目みんなの学校」の取り組みについて
- ・距離も関係性も越えていく「五城目町教育留学」の取り組みについて

**Q** 町の「拠点施設」の整備について現状はどうなっているの? 地区住民への説明が不十分では?

**A** 将来的に道の駅登録を目指していいる「複合拠点施設」の整備について、現在基本構想と基本計画の策定を行なっています。整備予定地の絞り込みも行っており、関係機関との調整を経たうえで、計画の概要をお示ししていきたいと考えています。

**Q** 町の「拠点施設」の整備について現状はどうなっているの?

**A** 集会所維持に使える「地域づくり組織一括交付金」により支援を行なっています(算定方法は右ページのQRコードから)。旧地区公民館については、建物も大きく維持管理の負担が大きいことから、建物の一部を貸し出すことで負担軽減を図っています。

**Q** ひかり放送の音質が悪く、よく聞こえない…。

**A** 端末が鳴らなくなつた、雑音が入る、ボリューム調整がきかないなど、端末の不調の場合は修理や交換など対応しています。担当の町民課は大型バスでも乗り切れず、スクールバスも配車して対応しています。

**Q** 0歳から100歳までの学びの場

**A** 学校の建設3年前から行われた住民対象のワークショップで、「参加者同士の意見を否定しない」「それそれの価値観を活かすことに重点を置いた」取り組みが、様々な「境界を越える」学校づくりへとつながった。越えた学びの場となつていて。生涯学習に校舎を利用するというのが我々の固定概念を越えていると感じた。前述のワークショップを経たことで、「住民が『おらほの学校』と呼ぶ」との、教育長の言葉が印象に残つた。

**Q** 教育留学

**A** 町外の小学1年生～中学2年生の生徒が1～2週間程度、町内民間宿泊施設や祖父母・親戚宅を利用しながら町内の学校に通う制度。都会と地方の距離を超えて、関係性も越える教育留学を経て、移住につながつた実績もあるとのこと。西和賀も受け入れ、活かす素地はある。

視察の詳細は今後の議会だよりで掲載予定です。今年度中に町民の皆さんにお知らせできるよう準備を進めています。

横手市・北上市・西和賀町研修交流会  
地域の担い手としての農業経営



7月15日、恒例の研修交流会が北上市を会場に行われました。株西部開発農産の照井勝也氏を講師として迎え、「農地集約・スマート農業について」講演していただきました。生産だけでなく営業・販売もする工夫とともに、農地集約を進めるも圃場が点在する難しさなどもお話しいただきました。「自社だけでなく、地域全体がよくなつてほしい」との思いから地域の作業受託も行っているという会社の理念についても学ぶことができました。

令和7年度町村議会広報研修会  
プロの編集技術を学ぶ



8月28日、令和7年度町村議会広報研修会が東京都のLINE CUBE SHIBUYA（渋谷公会堂）にて開催されました。議会広報を製作するにあたり、より読んでいたくためのインタビュー記事の必要性や重要性、また、スマートフォンを活用した撮影技術や動画撮影の基本などを実践しながら学びました。

所管事務調査 総務教民常任委員会  
介護施設の今とこれから



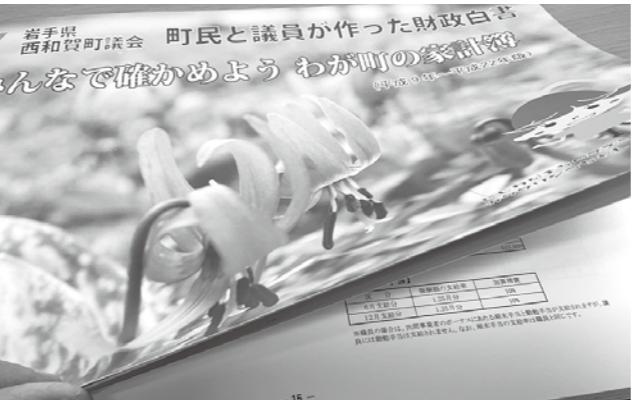
高齢化の進展とともにその重要性が高まる介護施設の現状把握と課題抽出を目的に、町内の7つの介護事業所へのアンケート調査や施設訪問を実施し、施設長や職員の方々との意見交換を行いました。人材不足や施設の老朽化、医療連携などが課題として挙げられています。高齢者が安心して暮らせるまちづくりを目指し、調査研究を進めて参ります。

軽米町議会視察受け入れ  
地域で支える西和賀高校



7月28日、軽米町議会総務教育民生常任委員会のみなさんが来町し、「県立高校への町の支援について」をテーマに視察されました。本議会では総務教民常任委員会が対応し、県立西和賀高校の県外募集の取り組みや、経済的な支援などについて説明しました。西和賀の魅力を生かした教育内容や、町での支援の内容などについて質問があり、「町で継続して支援していることが今の姿につながっている」と評価していただきました。

政策研究会  
わが町の家計簿はなじよなってら?



8月5日、「決算カードの読み解き方とそこから見える現状や今後の課題」をテーマに政策研究会を行いました。企画財政課を招き、類似団体との比較データを基にわが町の財政状況について説明を受けました。

消防演習  
町民の心強いヒーローに敬礼!



8月31日、令和7年西和賀町消防演習が西和賀消防署で開催されました。

残暑厳しい中、消防団員の日頃の訓練の成果と士気が機敏な動作に現れ、講評官からは「極めて優秀!」の評価をいただきました。

北上消防組合と西和賀町消防団員の合同による救助訓練では、ドローンが導入され災害現場を想定した模擬救助活動が行われました。

●主な議会公式行動 R7.6.10~R7.9.1まで

14日	土	湯田ふるさと会総会
16日	月	広報編集常任委員会
18日	水	令和7年度県南地区町議会議長会議員研修会及び交流会
19日	木	令和7年度主要地方道花巻大曲線花巻・沢内間整備促進期成同盟会総会
20日	金	にしづが建設会 講話・意見交換会
22日	日	岩手駐屯地創立68周年記念行事
24日	火	議会運営委員会
26日	木	議会報告会町への質問書提出 令和7年度盛岡横手線道路整備促進期成同盟会総会
27日	金	株西和賀産業公社第28定期時株主総会 株山の幸王国定期時株主総会
30日	月	広報編集常任委員会 令和7年度北上横手地域開発促進協議会総会及び第33回平和街道サミット
1日	火	新潟県胎内市議会常任委員会視察研修対応
2日	水	西和賀町議会行政視察研修会
4日	金	広報編集常任委員会
8日	火	一般国道107号大石地区道路災害復旧 (トンネル築造)工事貫通式 第1回政務調査会理事会ほか～9日
15日	火	令和7年度北上・横手・西和賀町議会交流会
18日	金	総務教民常任委員会
23日	水	議会広報モニター委嘱式
28日	月	軽米町議会常任委員会視察研修対応 一般国道107号改良整備促進期成同盟会要望会「県土木整備部ほか」～31日
30日	水	令和7年度西和賀町体育協会評議員会
1日	金	孫作地蔵尊供養祭
5日	火	議会定例報告会・政策研究会
6日	水	第56回町村議会夏季議員大学講座
14日	木	令和7年度西和賀町二十歳のつどい
18日	月	総務教民常任委員会所管事務調査(介護施設訪問)
19日	火	議会運営委員会
20日	水	令和7年度県への要望 令和7年度中央研修会、県選出国會議員との懇談会～22日
21日	木	令和7年度中央研修会、県選出国會議員との懇談会～22日
22日	金	総務教民常任委員会所管事務調査(介護施設訪問)
25日	月	広報編集常任委員会
26日	火	総務教民常任委員会所管事務調査(介護施設訪問) 第16回定例会資料説明会
27日	水	総務教民常任委員会所管事務調査(介護施設訪問) 令和7年度町村議会広報研修会
28日	木	町政調査会幹事会 第63回知事を囲む懇談会
31日	日	令和7年西和賀町消防演習(西和賀消防署)

このように議長交際費をお知らせします

(令和7年6月14日～令和7年9月1までの内訳)

お祝い	3件	17,000円
会費	8件	85,000円
お悔み (花輪なども含みます)	0件	0円



父・博美さん、母・正子さんとは仲良し家族です。

西和賀町に移住して頑張っている人や生まれてから現在まで西和賀町で暮らす皆さんを紹介します。

## ひろがれ!! 西和賀の輪

きくち 菊池 美雪 さん (泉沢・57歳)

Vol.30

魅力発信を強化してほしいです。早期復旧を！また、『山の町』としての林道は人間に登山を経験してほしい！和賀岳や南本内岳などへの町内の登山道は、そのままになつてしまいますが、時間がかかりついであります。特に若く、そのままであります。整備にさかづいてしまいます。登山道は人間に登山を経験してほしい！西和賀の山には本当に魅力があります。西和賀の山や自然の魅力とは？議会や町に望むことは？

私は山頂からの景色、特に山の稜線が連なっているのを見るのが好きです。がんばってみることで、美しさや気持ちよさを感じられると思います。町民にこそ、西和賀の山に入つてほしいです。特に若く、そのままであります。登山道は人間に登山を経験してほしい！西和賀の山には本当に魅力があります。西和賀の山や自然の魅力とは？議会や町に望むことは？

現在取り組んでいることは？



美雪さんは休日を中心に登山ガイドなどを務め、西和賀の山の魅力の発信や登山道の整備などを精力的に行ってています。取材当日も高田沢山(泉沢)のオサザワの滝にご案内いただきました。美雪さんが考える西和賀の自然の魅力とは？



## 期待しています

毎号「議会だより」が届くたび、スミズミまでたのしく目を通してあります。行政視察報告は興味深かったです。これからも議員皆さんの活躍に期待しております。「ミナデ、ナンジョガスベヨ」。(太田 高橋勝さん)



お便りありがとうございます。手に取って読んで頂ける、分かり易い紙面作りを心掛けております。紙面や内容など奇譚のないご意見お待ちしております。

(高橋義彦編集委員)



## 部署名を記載しては

一般質問や定例会での質疑など、議員からの質問に回答した部署が書かれていない。一般的な住民には回答部署がわからないのではないか。

(北上市 佐藤喜夫さん)



ほかにも声をお寄せくださいました！

このページのほかに  
3かしょにいるよ



## 紙上クイズ スミからスミまで

## 問題文

空欄に適切な言葉を入れてご応募ください。当選者には景品を差し上げます!!

1 西和賀町は、今年で合併〇〇周年。

2 西和賀町の地域ブランド「〇〇ノチカラ」は10年前に生まれた。

3 行政視察で、秋田県の〇〇〇小学校を訪問した。

## 応募方法

前回号の答え ① オロセ ② カルテ ③ 新潟

## 応募先

- 〒029-5512 西和賀町川尻40-40-71 西和賀町議会事務局「議会だより紙上クイズ」係まで、
- ファックスの場合は0197-82-2171まで、
- Googleフォームの場合は右のQRコードを読み取りご応募ください。

【締め切り】  
11月30日消印有効とします。



【No.79の当選者の発表】 高橋 勝(太田)、照井 定子(湯本)、佐藤 喜夫(北上市)

\ おめでとうございます。/

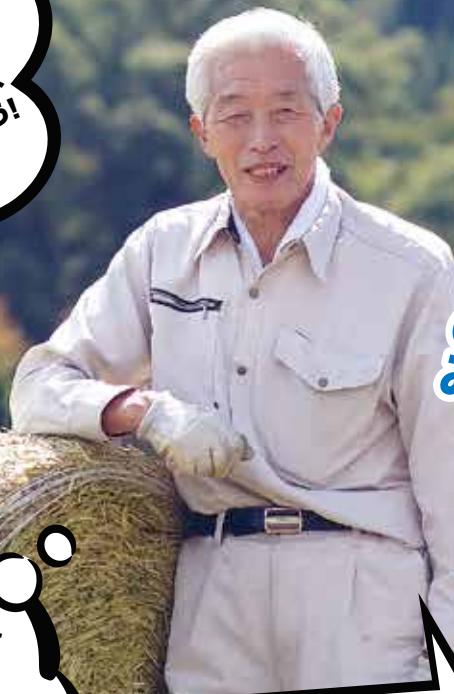
## 次号特集は「気になる“介護”(仮題) 町の介護事業の課題とは？

議会総務教民常任委員会が調査中の町の介護事情について取り上げます。皆さんの“介護事業”に関するご意見、課題と感じことなど、ぜひお寄せください。

# 人頼みにせず 未来は自分たちの手で

未来の  
西和賀をつくる  
キミにおーじ!  
メッセージー

どんな町にしたい?  
誰もが住める生活第一の町に!  
安定して稼げる場所、医療・福祉を整えて、  
若い人が住める町にしよう!  
若者が積極的に政治や町づくりに参加し、  
若者の考えが反映された未来を目指そう!



気骨のある議員が必要だ!  
反骨精神とあきらめない心を持って  
行政に対しても、議会内部でも、  
妥協できないことはとことんやり合う  
議員が出てきてくれるとうれしい。

終戦直後、旧沢内村貝沢の農家に生まれる。  
凶作の年は木の根っこを食べるような貧しい時代だった。  
初当選は沢内村時代、42歳のとき。  
当時の議員はほとんどが60歳以上だったから  
町政に若い声を反映させようと努めた。

与えられた使命と責務を  
まつとうするのみ  
北村  
嗣雄

活動テーマ  
町全体を考えながらも  
町北部の声を届ける。  
沢内村時代も合併後も、  
役場や議場から一番遠いのが  
貝沢地区だから。

●各号、議員がひとりずつ登場し、皆さんに呼びかけます！

全国的に猛暑の夏。西和賀も例外ではなく、連日の30度越えに「今日も暑なあ」が皆の合言葉に。そんな夏も過ぎ、短い秋が来ると一気に冷えこみました。今年の農作物の出来は皆さん如何でしたか？我が家ではビールのお供、枝豆の実入りが悪く残念な夏でした。令和の米騒動の中、期待の水稻は、カメ虫の異常発生もあり被害も多々、他作物も熊やイノシシ等による被害が各所で見られます。日常生活においても、コロナと同時にインフルエンザが流行したりと、例年には無い災いの多い年です。それでも年の瀬には、コロナと同時にインフルエンザが流行りました。「家族全員、無事で暮らせた」「良かった、良かった」と言える様に、残り数ヶ月を大切に努めたいと思ひます。

【発行責任者】  
議長 高橋 雅一  
副委員長 委員 高橋 義彦  
委員 委員 高橋 真嶋  
刈田 高橋 中村 普本 唐仁 原俊博  
高橋 高橋 ひとみ 歌織 実  
敏彦 敏樹 義彦

【議会だよりは広報編集常任委員会で編集しています】

こびりっこ

編集後記

